



みんなでつくる子育てひろば

深川北みずべかわらばん

2017年
9月号

NO.152

「イヤイヤの向こう側」

朝晩の暑さは少しずつ和らぎはじめました。これから深まっていく秋を楽しみに過ごしたいものですね。今年の夏もたくさんのこどもたちとお父さんお母さんがみずべに遊びにいらしてくださいました。ありがとうございました。

さて、ひろばでこどもたちの声に耳を傾けると、あちらこちらから「いやいや」の声が聞こえてきます。遊びの最中やお片付け、帰る時もこどもたちは精一杯今の自分の気持ちを表現しています。イヤイヤ期と言われる時期は成長の上で避けては通れない道でもあり、こどもたちが成長している証というけれど…。

毎日こどもたちの「イヤイヤ」に付き合うのってとっても大変ですよ。

先日のひろばでの出来事です。

おままごとをしていたAちゃん。お隣ではB君がお鍋いっぱいにくだものを入れてお料理して遊んでいます。AちゃんもB君のようにくだものをお鍋いっぱいに入れてお料理したかったようですが、B君に「かして」が言えなくて「いや～」になってしまいました。うまく気持ちが伝えられず、もっともっとイヤイヤになって泣き出してしまいました。

Aちゃん、どうするかな…と見守っていると。

お母さんのところに走って行って思い切り抱きしめてもらい落ち着きました。

数分後にはおままごとコーナーで、にこにこの笑顔でB君と楽しく遊ぶ姿がありました。

お隣で遊んでいたCちゃんにも「いいよ」「どうぞ」と遊んでいたおもちゃを貸してあげることが出来ました。Aちゃんがひとつ葛藤を乗り越えた瞬間でした。

こどもたちは“自分の気持ちを人にぶつけるとどうなるのかな”“受け入れてもらえるのかな”と、その時その場面でいろいろな形で表現してくれます。時には大人が困まり果ててしまうこともありますよね。こどもたちは、何度も繰り返し葛藤体験をすることで次第に“相手にも気持ちがあることや泣く以外にも思いを伝える方法があること”学んでいきます。それはとても時間がかかり、気持ちも揺さぶられる大変な時期ですが、私たち大人も自分の気持ちを聞いてもらえると安心するように。たとえ思いや願いがかなわなくても元気がでるのと同じように。

こどもたちも気持ち受け止めてもらいながら安心していろいろな葛藤体験を乗り越えていくことが大切なのだとAちゃんの姿から改めて感じます。

山澤 美津子



作詞 廣田 孝夫
作曲 小林つや江

まっぽっくり
まっぽっくりが
あったとき
たかい おやまに
あったとき
ころころ
ころころ
あったとき
おさるがひろって
たべたとさ